

平成16年9月期(16年度中間期)
ミニディスクロージャー誌
(第3期 中間事業報告書)



九州親和フィナンシャルグループ



取締役社長 小田 信彦

皆さまには、平素より「九州親和フィナンシャルグループ」をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、当社第3期中間期(平成16年4月1日から16年9月30日まで)の事業の概況ならびに決算の概要についてご報告申し上げます。

当中間期の経済環境を見ますと、米国や中国などの景気回復や企業業績の改善などに加え、個人消費の底堅さもあって、国内景気は回復の動きが見られました。一方、地元経済は、大手・中堅造船やIT関連など、一部で底堅い動きが見られたものの、業種間での業況格差や個人消費の低迷もあり、景気回復を実感するまでには至りませんでした。

このような経済環境の中、当社傘下の親和銀行では、合併効果を活かした経営コストの大幅削減や役務取引等利益の増強により、基礎的収益力であるコア業務純益を118億円と順調に増加させる一方で、リレーションシップバンキングの機能強化、特に地域企業再生に全力で取り組み、不良債権残高の圧縮と与信コストの低減が図られました。

この結果、当中間期における銀行単体の経常利益は38億円、最終の当期純利益も30億円を計上し、当社グループ連結でも経常利益28億円、当期純利益29億円となり、業績のV字回復へ向けた着実な歩みを進めております。

17年度からは、銀行合併後の「創生期」から「成長期」へのステップアップを目指し、新しい中期経営計画をスタートさせる予定でございますが、ペイオフの全面解禁、各種金融業務の規制緩和、新BIS規制の導入など取り組むべき課題は多くありますので、一つひとつ前倒しで迅速に対応するスピード感溢れる経営を行ってまいります。

今後も、長崎県を中心とした北部九州に広がる経営基盤を土台に、地域を力強く支える金融グループとして、より質の高い総合金融サービスを提供することで、これまで以上に地域経済の活性化に貢献できるよう役職員一同、総力を挙げて取り組んでまいります。

皆さまには、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成16年12月
株式会社 九州親和ホールディングス

株式会社九州親和ホールディングス

設立	平成14年4月1日
所在地	長崎県佐世保市島瀬町10番12号
資本金	350億円
発行済株式総数	336,671,954株 (うち、普通株式306,671,954株、 優先株式 30,000,000株)
事業の内容	銀行等子会社の経営管理、ならびにそれに 附帯する業務
上場証券取引所	東京証券取引所・福岡証券取引所

株式会社親和銀行

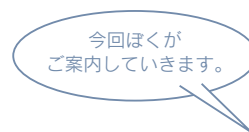
創業	明治12年2月15日
設立	昭和14年9月1日
本店	長崎県佐世保市島瀬町10番12号
資本金	209億円
店舗数	154カ店
従業員数	2,246名
預金	2兆3,301億円(譲渡性預金を含む)
貸出金	1兆7,950億円

※店舗数には、コンビニATM管理専用店舗2カ店、振込入金消込サービス管理専用店舗1カ店、海外駐在員事務所1カ所を含みます。

CONTENTS

ごあいさつ

Q.平成16年9月期の決算はどうでしたか？……………	2	平成16年9月期 事業の概況をお知らせします……………	16
Q.収益の状況はどうですか？……………	3	第3期中間期 財務諸表……………	18
Q.不良債権への対応はどうなっていますか？……………	4	平成16年9月期 営業の概要をお知らせします……………	19
Q.自己資本比率の状況はどうですか？……………	5	不良債権への備えは万全です……………	21
Q.経営の効率化の状況はどうですか？……………	6	役員一覧……………	22
Q.平成17年3月決算の見込みはどうですか？……………	7	その他グループ各社……………	22
Q.ペイオフ解禁って何ですか？……………	7	株主の皆さまへ……………	23
Q.リレーションシップバンキングって何ですか？……………	8	充実した店舗ネットワークをご利用ください……………	24
Q.地域貢献についての基本的な考え方は何ですか？……………	9	全国に広がるATMネットワーク……………	25
Q.地域貢献に関する情報公開はどのようにしていますか？……………	10		
Q.地域経済活性化への取り組み状況はどうですか？……………	11		
Q.貸出を通じた地域貢献はどのようになっていますか？……………	12		
Q.住宅資金などに関していろいろ知りたいのですが？……………	13		
Q.預金や預かり資産の状況はどうですか？……………	14		
Q.サービスの取り組み状況はどうですか？……………	15		



プラスくん

Q

平成16年9月期の決算はどうでしたか？

A

経営課題を確実にクリアして、30億円の中間純利益を計上し、V字回復への道すじをつけることができました。

■九州親和ホールディングス(単体)業績 (単位:百万円)

	平成16年9月期	平成15年9月期比
営業利益	69	▲ 1,144
営業経費	170	▲ 26
経常利益	71	▲ 1,143
中間純利益	41	▲ 1,166

■親和銀行(単体)業績 (単位:百万円)

	平成16年9月期	平成15年9月期比
業務粗利益	29,382	273
資金利益	26,304	▲ 1,154
役務取引等利益	1,889	350
その他業務利益	1,189	1,078
国債等債券損益	1,030	990
経費	16,493	▲ 2,024
人件費	8,370	▲ 1,194
物件費	6,917	▲ 758
税金	1,204	▲ 73
業務純益(一般貸引繰入前)	12,889	2,298
一般貸引繰入金繰入額	▲ 2,314	▲ 6,967
業務純益	15,204	9,266
(コア業務純益)※1	11,858	1,308
臨時損益	▲ 11,329	20,959
不良債権処理額	12,730	▲ 18,488
株式等関係損益	1,535	1,607
経常利益	3,873	30,224
特別損益	438	689
償却債権取立益	1,369	886
投資損失引当金取崩額	526	526
(総与信費用)※2	8,520	▲ 26,869
中間純利益	3,018	24,878

■業務粗利益

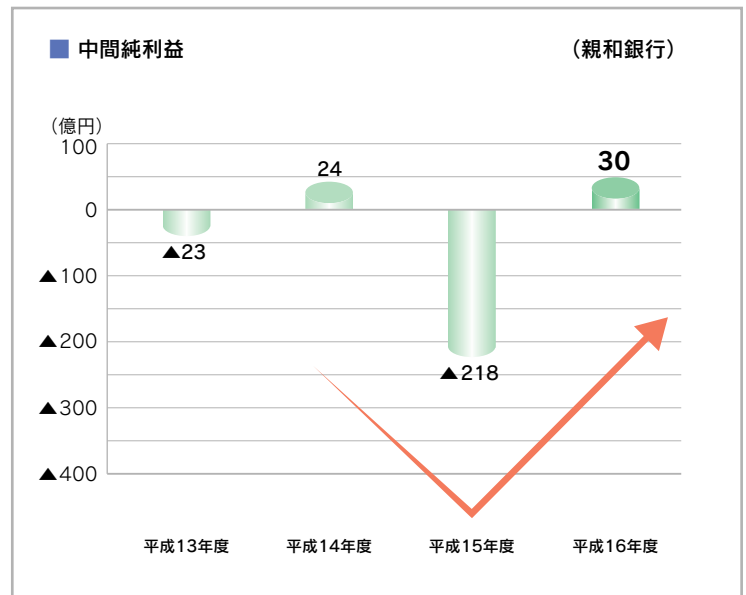
資金需要の低迷から資金利益は伸び悩んだものの、投資信託や個人年金保険の取扱手数料、ATM提携による手数料などの役務利益は増加し、前年同期比約3億円の増加となりました。

■経費

店舗統廃合や人員削減など、合併による経営の効率化と通常経費の削減に成功し、前年同期比約20億円の減少となりました。

■中間純利益

不良債権処理が前年同期比で大幅に減少しました結果、中間純利益30億円を計上し、V字回復への道すじをつけることができました。



※1. コア業務純益=業務純益+一般貸引繰入金繰入-国債等債券損益

※2. 総与信費用=不良債権処理額+一般貸引繰入金繰入-償却債権取立益-投資損失引当金取崩額

※平成14年度までは、親和銀行と九州銀行の2行合算です。

Q

収益の状況はどうか？

A

**基礎的な収益力(コア業務純益)は半期で118億円、
着実に向上しております。効率性も順調です。**

■ コア業務純益

合併効果を早期に発揮することで、経営の効率化が図られ、前年同期比13億円増の118億円を計上。着実に年間200億円超のコア業務純益を計上することができる体制となりました。

■ OHR

経営効率性のひとつの目安である50%台を実現しました。合併効果が着実に現れています。

基礎的な収益力の強化を図っています。



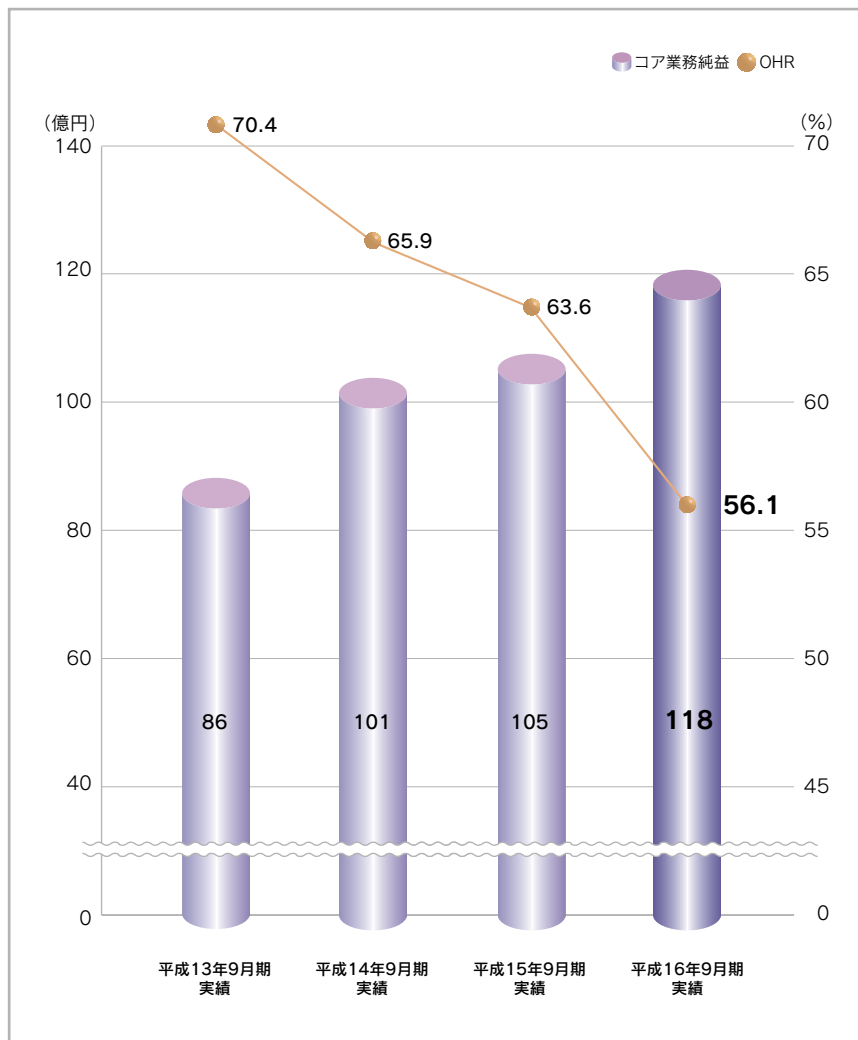
用語説明

【コア業務純益】

銀行の基礎的な収益力を示す指標で銀行本来業務から得られる利益を示したものです。

【OHR】

業務粗利益に占める経費の割合で数値が小さいほど収益性・効率性が高いことを示す指標です。



※平成14年9月期までは、親和銀行と九州銀行の2行合算です。

Q

不良債権への対応はどうなっていますか？

A

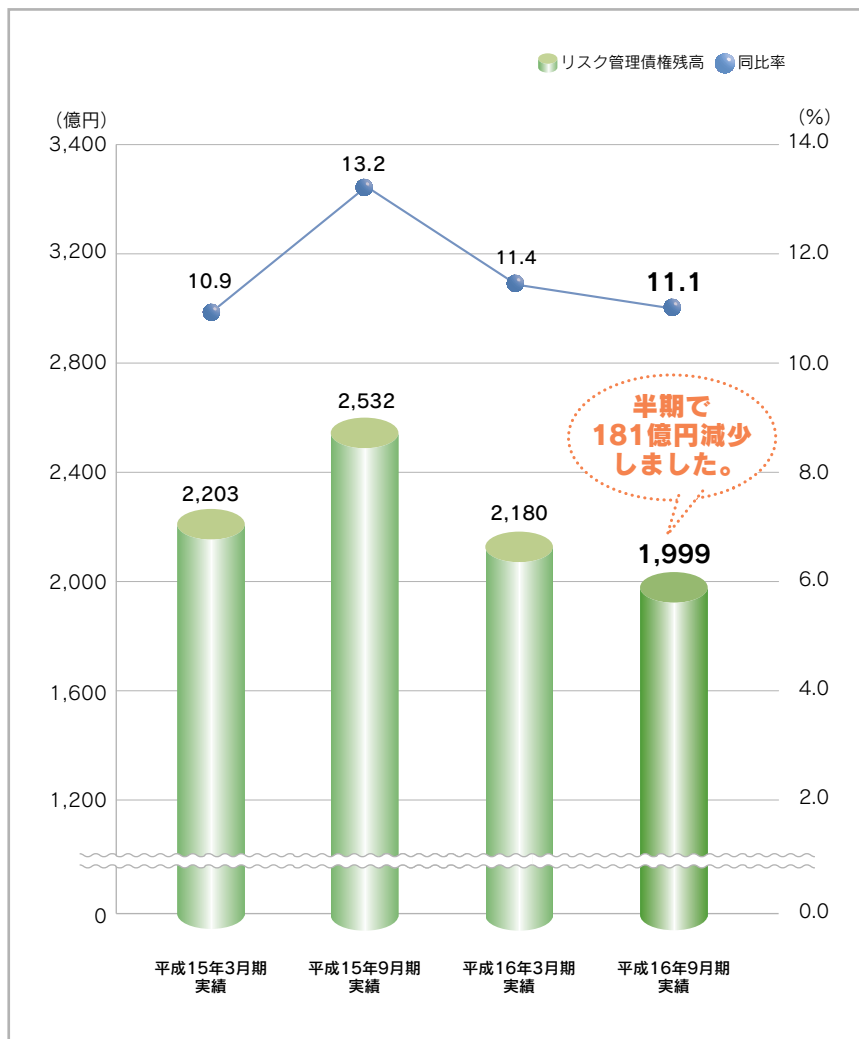
企業再生支援への取り組み強化や
オフバランス化の促進で、着実に減少しております。

■ 不良債権残高の圧縮

平成15年度は、不良債権を厳しく見積もり、大幅に引当を強化するとともに処理を加速させました。

平成16年度に入り、企業再生支援への取り組み強化とオフバランス化の促進により、残高の圧縮に努めました結果、リスク管理債権残高は、前年同期比▲532億円と着実に減少いたしました。

大幅に、削減しました。



※平成15年3月期は、親和銀行と九州銀行の2行合算です。

Q

自己資本比率の状況はどうか？

A

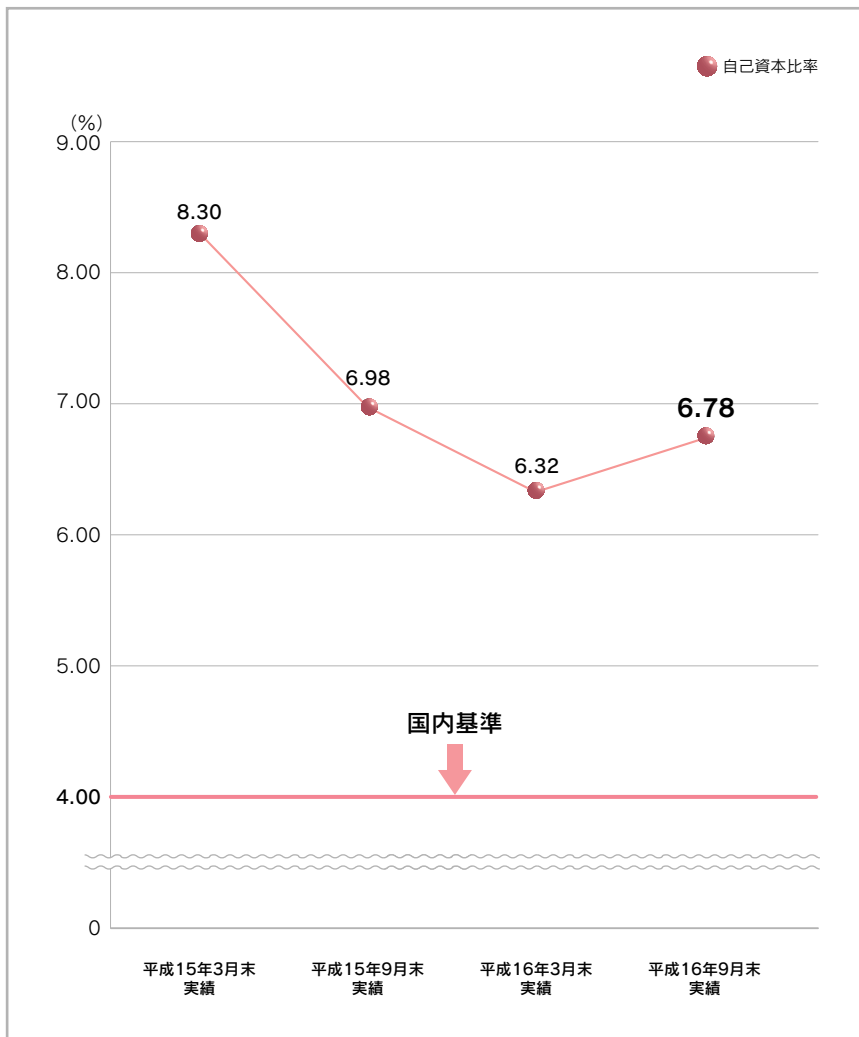
中間純利益30億円を計上したことから、6.78%となり、健全行の基準である4%を大幅に上回っております。

■ 自己資本比率

中間純利益30億円を計上したことから、6.78%と平成16年3月末比0.46ポイント上昇いたしました。

健全行の基準である4%を大きく上回っており、更に収益力を強化し、利益の積み上げによる自己資本の充実に努めております。

さらに収益力を強化し、自己資本を充実させていきます。



※平成15年3月末は、親和銀行と九州銀行の2行合算です。

Q

経営の効率化の状況はどうか？

A

合併効果を早期に実現し、計画を上回るスピードで経営の効率化が図られています。

■ 従業員数

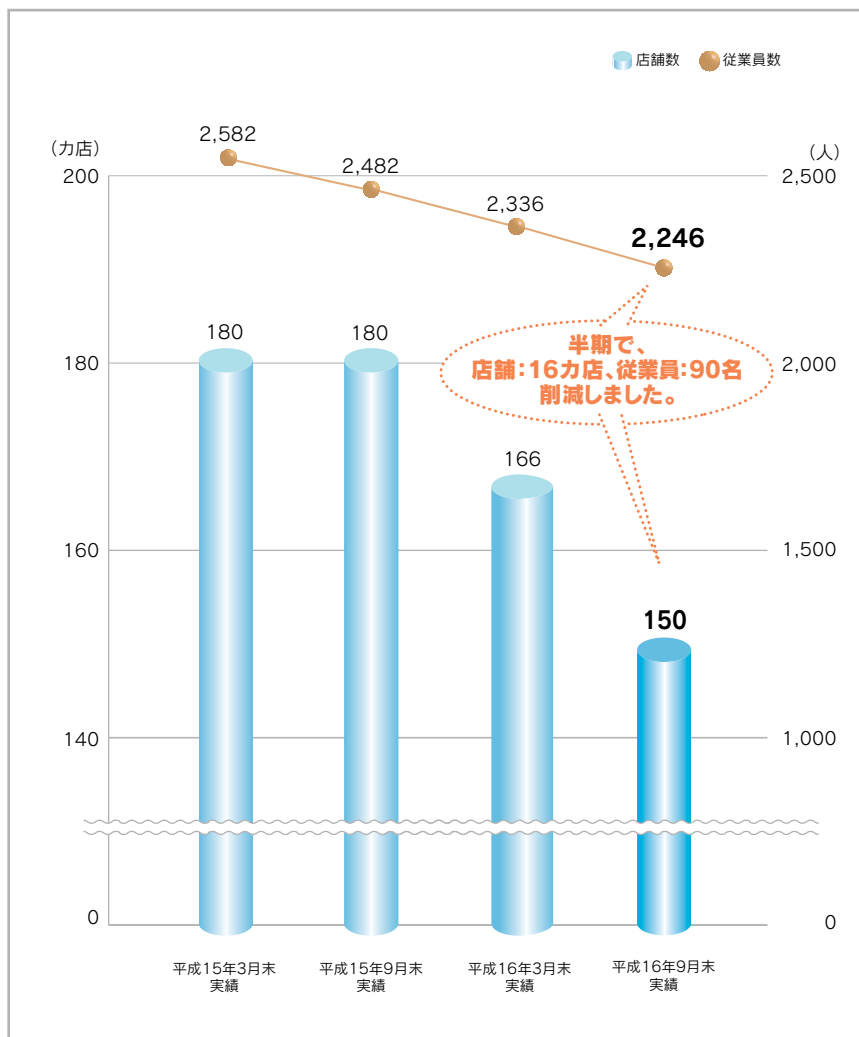
平成16年9月末は、新たなエリア体制により、行員を戦略的に配属することや、パートタイマーを有効に活用し戦力強化することにより、2,246名と計画を上回るスピードで削減しております。

■ 店舗

合併後の平成15年下期から重複店を中心に本格的に統廃合を進めて、平成16年9月末で前年比30カ店減の150カ店となりました。

さらに、効率的な営業推進を目的に戦略的な店舗展開を実施して、平成17年3月末には138カ店とする予定です。

※ 店舗数には、コンビニATM管理専用店舗、振込入金消込サービス管理専用店舗、海外駐在員事務所を除きます。



※平成15年3月末までは、親和銀行と九州銀行の2行合算です。

Q

平成17年3月決算の見込みはどうか？

A

確実に利益を計上して、
V字回復を確かなものといたします。

■ 持株会社・子会社

(単位:億円)

	経常収益(※)	経常利益	当期純利益
九州親和ホールディングス(連結)	663	37	31
九州親和ホールディングス(単体)	4	1	0
親 和 銀 行(連結)	676	51	29
親 和 銀 行(単体)	668	50	29

経営課題を一つひとつ確実にクリアし、合併効果を実現することで、利益を計上しV字回復を確かなものといたします。

※九州親和ホールディングス(単体)は営業収益

Q

ペイオフ解禁って何ですか？

A

万が一金融機関が破綻した場合に、預金等1,000万円まで元本とその利息を払い戻す措置のことです。

平成17年4月以降は、当座預金等の利息がつかないなどの条件を満たす決済用預金が全額保護されます。

それ以外の預金等については、1金融機関ごとに、預金者1人あたり元本1,000万円までとその利息等が保護されます。

決済用預金とは、「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。



■ 預金保護の姿

		平成14年4月～平成17年3月	平成17年4月～
預金 保 険 対 象 商 品	当座預金 普通預金 別段預金	全 額 保 護	無利息等の条件を満たす預金 (決済用預金)は全額保護
	定期預金 貯蓄預金 定期積金 ビッグ等	合算して元本1,000万円とその利息等を保護 (1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます)	
対 象 外 商 品	外貨預金 譲渡性預金 ヒット等	保護対象外 (破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます<一部カットされることがあります>)	

Q

リレーションシップバンキングって何ですか？

A

金融機関がお客さまとの間で親密な関係を長く維持することにより蓄積する情報を基本として、貸出等のサービスを行なうビジネスモデルのことです。

親和銀行は、平成15年9月に公表しました「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に基づき、平成15年～16年度の2年間で中小企業再生や不良債権問題解決への確実な取り組みを通じて、地域経済活性化に積極的に努めています。

リレーションシップバンキングの機能強化計画(平成15～16年度)

中小企業金融の 再生に向けた取り組み

- ◎創業・新事業支援機能等の強化
- ◎取引先企業等に対する
経営相談・支援機能の強化、等々

健全性の確保、収益性の 向上等に向けた取り組み

- ◎資産査定・信用リスク管理の厳格化
- ◎収益管理態勢の整備と収益力の向上、等々



あなたに地域に
プラスがいいネ。



親和銀行の中期経営計画(平成15～16年度)

基本 方針

- ◎合併効果の早期実現による経営の再構築
- ◎総合金融サービス業への進化
- ◎役職員一体となった組織の活性化

Q

地域貢献についての基本的な考え方は何ですか？

A

親和銀行は、「地域」の位置づけを主要経営基盤である長崎県・佐賀県・福岡県の「北部九州経済圏」とし、地域社会への貢献のためリレーションシップバンキングの機能強化を図ってまいります。



地域金融機関である親和銀行にとって、
「円滑な資金供給」と「金融サービスの提供」を通じて、
地域経済の発展と豊かな地域社会づくりに貢献することが最大の使命であり、
地域貢献の本来のあり方だと考えております。

Q

地域貢献に関する情報公開はどのようにしていますか？

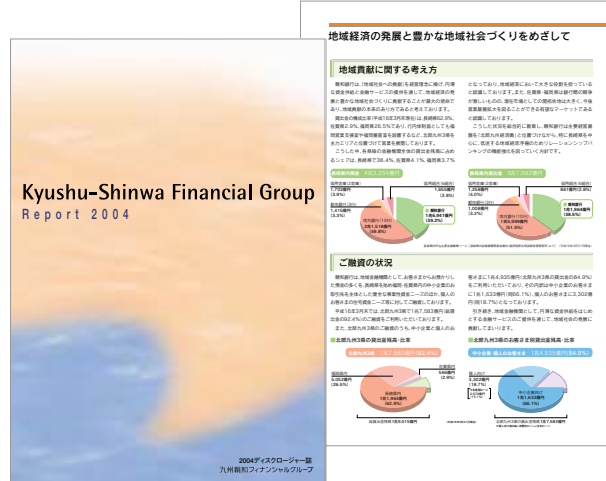
A

地域の皆さまから十分にご理解をいただくため、 適時適切な情報公開や分かりやすい説明を行っております。

■ 毎年、長崎・福岡県内各地で経営説明会を実施しています。



■ 様々な刊行物などでお知らせしています。



タイムリーでわかりやすい、
情報公開を心掛けています。



Q

地域経済活性化への取り組み状況はどうか？

A

**経営のサポートや企業市民としての活動など
様々な取り組みを実施しております。**

企業育成への取り組み

～ベンチャー企業の開拓と育成～

グループ会社であるしんわベンチャーキャピタル(株)を中心として、創業支援に積極的に取り組んでおります。平成13年8月に長崎県との共同出資により設立した2億円のベンチャー企業向け投資ファンドに加え、平成15年7月には、グループ単独で5億円の「第2号投資事業有限責任組合」を設立し、これまで10件、255百万円の投資実績となっております。

引き続き、北部九州経済圏のベンチャー企業や株式公開予定企業への支援を行ってまいります。

経営相談等への取り組み

～経営者の良きパートナーを目指して～

経営者の皆さまの良き相談相手となることを目指し、安心してご相談いただける体制を整備しております。

具体的には、お客さまの高度なニーズに対応できる中小企業診断士やファイナンシャルアドバイザーなどの人材配置のほか、公認会計士や弁護士などの外部専門家とのネットワークなども活用した体制を構築し、特殊業種には、その特性や動向などに精通した人材を配置するなど、グループ全体でトータルな経営サポートを行っております。

中国ビジネスの支援

平成7年1月に中国最大の経済都市・上海に駐在員事務所を設置し、現地での調査などを通じて、お客さまの中国ビジネスをサポートしております。



経営改善・事業再生サポートへの取り組み

～地域経済活性化に向けて～

地域経済の活性化に向けて、お取引先企業の経営改善・事業再生サポートに積極的に取り組んでおります。サポートにあたっては、個社別に最も有効なスキームの策定と検証が必要であり、本部内に専任部署を設置するとともに、外部専門機関等との連携を強化するなどの体制を強化しております。

さらに、平成16年4月、地元企業の再生を図る目的で、長崎・佐賀・福岡・大分・熊本の5県に跨る広域型の「九州広域企業再生ファンド」も組成し、早期事業再生の支援を強化しております。

地域への各種支援活動

企業市民としての社会的責任を果たすという観点から、(財)親和銀行ふるさと振興基金を通じた長崎県内の優れた町おこし運動などへの助成事業や、地域文化の向上を目的とした出版事業のほか、スポーツ活動の支援、地域行事への参加やボランティア活動等、文化・スポーツの振興などにおいても幅広い活動を行っております。

■ 書籍刊行による 地域文化の向上

長崎県の歴史や文化、中国や西洋との交流に関する書籍の刊行



■ 「小さな親切運動」への 取り組み

地域の清掃、スポーツ教室の開催、ボランティア活動等



Q

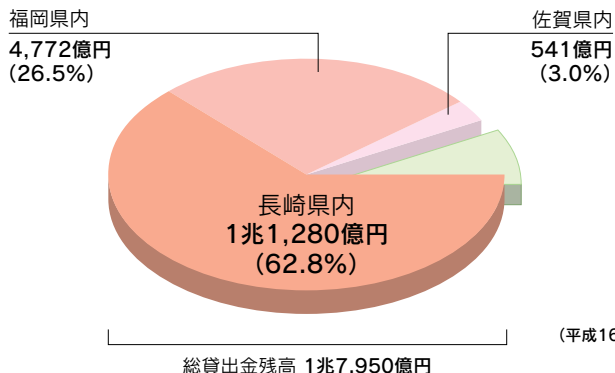
貸出を通じた地域貢献はどのようになっていますか？

A

地域金融機関の使命である「地域社会への貢献」を目指し、安定的な資金供給に努めております。

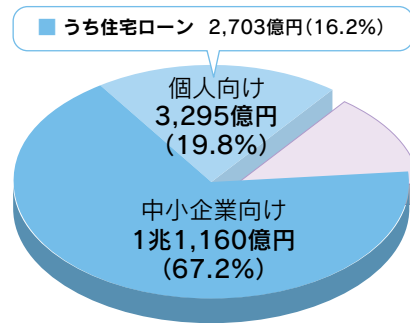
■ 北部九州3県の貸出金残高・比率

北部九州3県 1兆6,594億円 (92.4%)



■ 北部九州3県のお客さま別貸出金残高・比率

中小企業・個人のお客さま 1兆4,455億円 (87.1%)



北部九州3県の貸出金残高 1兆6,594億円

※個人向け貸出金 = 消費性ローン + 住宅ローン

頑張る地元企業の皆さまをスピーディーに応援します！

平成16年4月、新たに信用保証協会との提携により、地元企業の皆さまの幅広い資金ニーズにスピーディーに対応できる商品の取扱いを開始しました。

**パワーアップ
1500/3000**

(長崎県信用保証協会との提携商品)

元気フクオカ資金

(福岡県信用保証協会との提携商品)

ポイント！

無担保・第三者保証人不要

スピーディーな審査

このほかにも、事業者向けスピードローン商品「しんわクイックサポート」をご用意しております。

充実した商品ラインナップをどうぞご利用ください。

リフォームの夢を叶える 無担保リフォームローン『増改築の達人』をお取り扱いしています。

平成16年8月12日、無担保でFAXでの事前審査によりスピーディーにご利用いただける『増改築の達人』の取扱を開始しました。

お使いみちも通常のリフォーム資金に加え、太陽光発電機器購入や介護機器購入資金にもお申込が出来ます。

平成17年3月31日までの期間中、ご利用いただきましたお客さまに金利優遇キャンペーンを行っておりますので、ぜひご利用ください。



Q

住宅資金などに関するいろいろな知りたいのですか？

A

住宅ローンプラザで専門スタッフが
住宅取得に関するご相談に
お応えしています。



まずは
お電話ください。

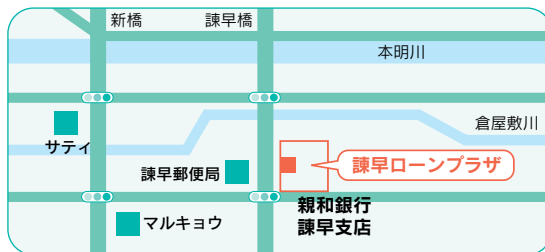


佐世保ローンプラザ



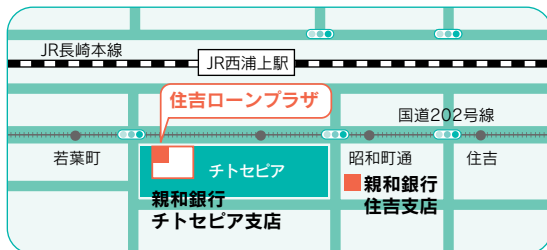
- 営業日／平日・土曜日
- 営業時間／平日 10:00～18:00
土曜日 10:30～17:00
(日・祝日、12/31～1/3、5/3～5/5は定休日となります)
- 所在地／佐世保市島瀬町10-12 (親和銀行本店営業部に併設)
- 電話番号／0120-45-4862

諫早ローンプラザ



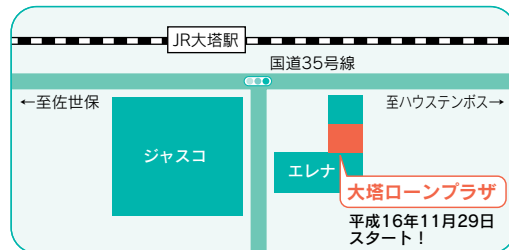
- 営業日／平日 (銀行営業日)
- 営業時間／平日 9:00～18:00
- 所在地／諫早市八坂町2-1 (親和銀行諫早支店内に併設)
- 電話番号／0120-39-4862

住吉ローンプラザ



- 営業日／平日 (銀行営業日)
- 営業時間／平日 9:00～18:00
- 所在地／長崎市千歳町5-1 (親和銀行チトセビア支店内に併設)
- 電話番号／0120-89-4862

大塔ローンプラザ



- 営業日／平日 (水曜日は除く) および土曜日・日曜日
- 営業時間／10:00～18:00
(水曜日、祝日、12月31日～1月3日および5月3日～5月5日は定休日となります)
- 所在地／佐世保市大塔町6-1
- 電話番号／0120-16-4862

Q

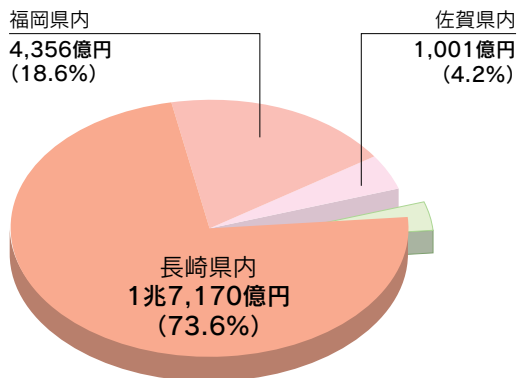
預金や預り資産の状況はどうか？

A

そのほとんどを北部九州3県のお客さまからお預りしております。

■ 北部九州3県の総預金残高・比率

北部九州3県 2兆2,527億円(96.6%)

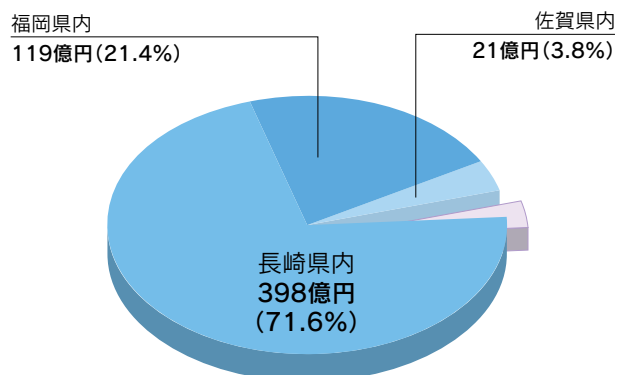


総預金残高 2兆3,301億円

(平成16年9月30日現在)

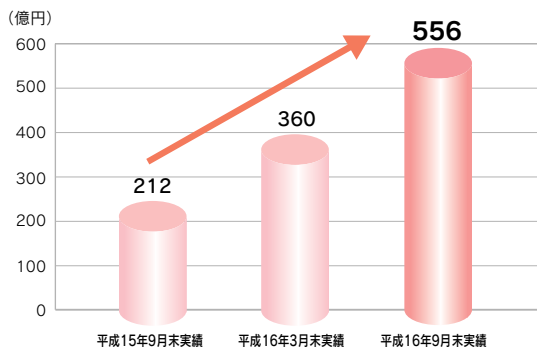
■ 北部九州3県のお預り資産残高・比率

北部九州3県 539億円(96.8%)



お預り資産残高 556億円

■ 北部九州3県のお預り資産残高の推移



お預り資産 = 投資信託 + 公共債 + 個人年金保険 + 外貨預金

■ 魅力満載の商品

親和銀行では、お客さまのニーズに合ったさまざまな商品を取りそろえております。

お近くのしんわの窓口へお越しください。



平成16年9月期 事業の概況をお知らせします

九州親和ホールディングス(連結)

	平成15年9月期	平成16年3月期	平成16年9月期
預金・譲渡性預金	24,249	23,760	23,282
貸 出 金	19,105	18,996	17,924
有 価 証 券	4,899	5,085	5,112
総 資 産	26,055	25,772	25,299
純 資 産	1,029	971	997
経 常 収 益	32,586	66,177	34,608
経 常 費 用	59,910	102,986	31,758
経 常 利 益 △は経常損失	△27,323	△36,809	2,849
中間(当期)純利益 △は中間(当期)純損失	△22,144	△34,425	2,993
自 己 資 本	1,146	1,016	1,039
自己資本比率	7.02%	6.31%	6.76%

自己資本比率

当グループの連結自己資本比率(国内基準)は、子銀行の利益計上により6.76%となりましたが、健全行の基準である4%を十分に上回っており、今後は利益の積み上げによる自己資本の強化が見込まれます。

損益の状況

損益の状況につきましては、経常収益346億8百万円となり、経常費用は317億58百万円となりました。

この結果、経常利益28億49百万円、中間純利益は29億93百万円となりました。

今回、子銀行が不良債権処理を主体とする総与信費用が大幅に減少したこと、および合併効果の早期実現によって、中間純利益が大幅な改善となりました。

資産・負債・資本の状況

総資産につきましては、当期末残高は2兆5,299億円となりました。主な内訳としては、貸出金が依然として厳しい経済環境のなか企業の資金需要の低迷などから期末残高は1兆7,924億円となりました。有価証券は運用の多様化に努めた結果、期末残高は5,112億円となっております。

負債につきましては、当期末残高は2兆4,301億円となりました。主な内訳としては、総預金(譲渡性預金を含む)が期末残高2兆3,282億円となっております。

純資産につきましては、子銀行の利益計上などにより997億円となりました。

リスク管理債権の状況

連結ベースのリスク管理債権は、2,000億円となりました。債権区分別にみますと、延滞債権がリスク管理債権全体の64%を占め、次いで貸出条件緩和債権が29%を占めております。

(単位:億円)

	平成16年9月30日
破綻先債権	122
延滞債権	1,281
3ヵ月以上延滞債権	1
貸出条件緩和債権	595
合計	2,000

有価証券の評価損益の状況

連結ベースの有価証券の評価損益は、142億円となりました。

なお、当グループの連結会計処理は連結原則に基づき実施しており、当社設立時点において連結上子会社の保有する有価証券の取得を平成14年3月末時価により行ったこととなるため、子銀行との評価損益に差が発生いたします。なお、子銀行単体の有価証券の評価損益計数は、156億円となっております。

(単位:億円)

	平成16年9月30日
株式	65
債券	28
その他の	49
合計	142

第3期中間期 財務諸表

九州親和ホールディングス(連結)

中間連結貸借対照表

平成16年9月30日現在

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	89,568	預金	2,258,186
コールローン及び買入手形	60,722	譲渡性預金	70,049
買入金銭債権	44	売現先勘定	1,039
商品有価証券	49	債券貸借取引受入担保金	31,084
金銭の信託	2,985	借入金	11,829
有価証券	511,203	外国為替	28
貸出金	1,792,493	その他負債	8,109
外国為替	2,416	賞与引当金	957
その他資産	13,566	退職給付引当金	14,501
動産不動産	58,466	連結調整勘定	128
繰延税金資産	31,164	支払承諾	34,193
支払承諾見返	34,193	負債の部合計	2,430,110
貸倒引当金	△ 66,867	(少数株主持分)	
投資損失引当金	△ 52	少数株主持分	72
		(資本の部)	
		資本金	35,000
		資本剰余金	89,634
		利益剰余金	△ 32,890
		その他有価証券評価差額金	8,511
		自己株式	△ 483
		資本の部合計	99,771
資産の部合計	2,529,954	負債、少数株主持分及び資本の部合計	2,529,954

中間連結損益計算書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	34,608
資金運用収益	27,238
(うち貸出金利息)	(24,306)
(うち有価証券利息配当金)	(2,881)
役務取引等収益	3,826
その他業務収益	1,376
その他経常収益	2,166
経常費用	31,758
資金調達費用	1,719
(うち預金利息)	(913)
役務取引等費用	1,666
その他業務費用	156
営業経費	16,900
その他経常費用	11,316
経常利益	2,849
特別利益	2,487
特別損失	933
税金等調整前中間純利益	4,403
法人税、住民税及び事業税	64
法人税等調整額	1,333
少数株主利益	11
中間純利益	2,993

平成16年9月期 営業の概要をお知らせします

親和銀行(単体)

	平成15年9月期	平成16年3月期	平成16年9月期
預金・譲渡性預金	24,269	23,778	23,301
貸出金	19,116	19,015	17,950
有価証券	4,899	5,085	5,112
総資産	26,314	26,017	25,543
経常利益 △は経常損失	△ 26,351	△ 35,621	3,873
中間(当期)純利益 △は中間(当期)純損失	△ 21,860	△ 34,373	3,018
自己資本	1,155	1,033	1,059
自己資本比率	6.98%	6.32%	6.78%

預金・譲渡性預金

預金(譲渡性預金含む)は、景気低迷による法人の手許資金減少に加え、高金利定期預金を抑制した結果、前年同期比967億円減少し、期末残高は2兆3,301億円となりました。

貸出金・有価証券

貸出金は、不良債権のオフバランス化促進、また、企業の資金需要低迷を要因として、前年同期比1,165億円減少し、期末残高は1兆7,950億円となりました。有価証券は、前年同期比213億円増加し、期末残高は5,112億円となりました。

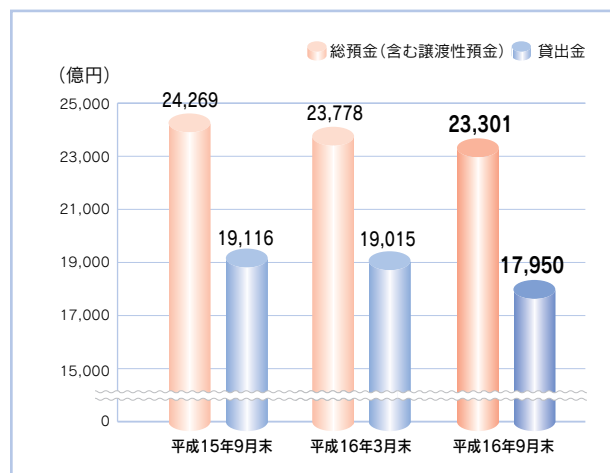
損益の状況

合併効果を活かして経営コストの大幅な削減に努める一方で、資産査定厳格化による引当強化、企業再生支援強化及び不良債権のオフバランス化促進といった不良債権処理を主体とする総与信費用が大幅に減少したことから、経常利益38億73百万円、中間純利益30億18百万円を計上することとなりました。

店舗

店舗は、効率的な営業推進を目的として、浦上中央支店他15カ店を廃止したため、当期末の店舗数は上海事務所を含めて154カ店となりました。また、店舗外ATMコーナーは、8,666カ所(自行ATM172カ所、コンビニATM8,494カ所)になりました。

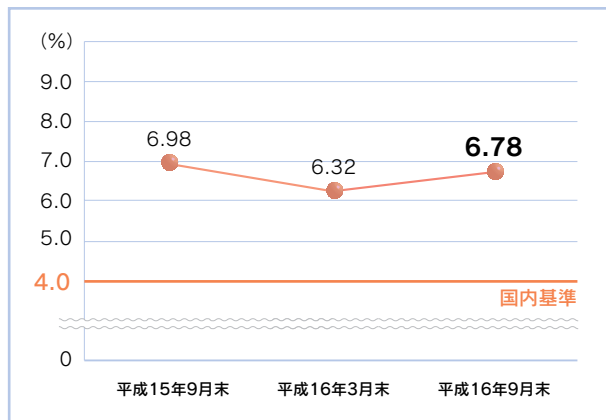
預金・貸出金の推移



平成16年9月期 営業の概要をお知らせします

親和銀行(単体)

■ 自己資本比率の推移

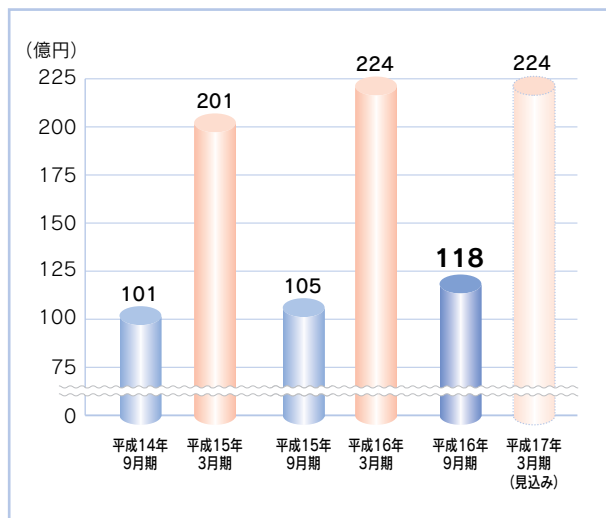


自己資本比率

自己資本比率(国内基準)は、利益計上により、6.78%となりました。

健全行の基準である4%を大幅に上回っており、16年度以降は、収益力を更に強化し、利益の積上げによる自己資本の充実に努めてまいります。

■ コア業務純益の推移



コア業務純益

銀行の本来の収益力を示すコア業務純益(※)は前年同期比13億円増加し、118億円となりました。

今後も合併効果の更なる発揮と営業収益の増強で、基礎的収益力を強化し強固な経営体質を構築してまいります。

(※)銀行本来業務の収益力を表すものとして一般的に使われており、業務粗利益(除く国債等債券損益)から経費を除いたものです。

(注)平成15年3月期までは、親和銀行と九州銀行の単体計数の合算です。

不良債権への備えは万全です

適切な自己査定による不良債権の償却・引当処理により、金融再生法開示基準に基づく「要管理債権」以下の債権に対し、親和銀行では約70%程度を担保・保証や引当金により保全し、将来に備えて十分な手当を行っております。

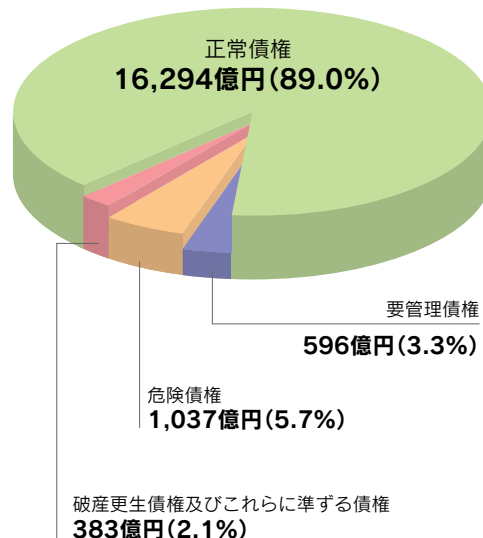
金融再生法開示基準に基づく保全・引当の状況(単体)

(単位:億円)

項目	債権額A	保全等 カパーB	保全率 B/A(%)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	383	383	100.0
危険債権	1,037	724	69.8
要管理債権	596	299	50.2
小計	2,016	1,406	69.8
正常債権	16,294		
合計	18,310		

(単位未満四捨五入)

不良債権等の比率



用語説明

1.破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

2.危険債権

債務者が経営破綻の状態には至ってないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

3.要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」を除く3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

役員一覧(平成16年11月30日現在)

■九州親和ホールディングス

取締役社長(代表取締役)	小田信彦
専務取締役	久米重治
専務取締役	片山仁志
常務取締役	矢野正信
常務取締役	櫻井暉雄
取締役	森三四
常勤監査役	坂本義治
監査役	坂本博
※監査役	笹浪恒弘
※監査役	村上啓次郎

※印の監査役は商法特例法第18条第1項に定める社外監査役であります。

■親和銀行

取締役頭取(代表取締役)	小田信彦
専務取締役	久米重治
専務取締役	片山仁志
常務取締役	矢野正信
常務取締役	櫻井暉雄
常務取締役	松尾正剛
常務取締役	川原康廣
取締役	山本和雄
取締役	上川利幸
取締役	荒木隆繁
常勤監査役	坂本博
※監査役	笹浪恒弘
※監査役	村上啓次郎

その他グループ各社(平成16年11月30日現在)

会社名	本社所在地	事業の内容
しんわディーシーカード株式会社	佐世保市栄町4-1	クレジットカード業務
親和ビジネスサービス株式会社	佐世保市浜田町2-2	銀行事務代行業務
しんわ不動産サービス株式会社	佐世保市島瀬町10-12	担保不動産評価・調査業務
株式会社親和経済文化研究所	佐世保市島瀬町10-12	調査研究業務
親和リース株式会社	福岡市中央区西中洲6-27	リース業務
しんわベンチャーキャピタル株式会社	佐世保市島瀬町10-12	株式公開支援業務他
西九州保証サービス株式会社	佐世保市栄町4-1	信用保証業務
九州ユニオンクレジット株式会社	福岡市中央区西中洲12-19	信用保証業務

株主の皆さまへ

単元未満株式を保有されている皆さまへ

法律の改正に基づく定款の変更により、単元未満株式を保有されている株主の方は、2003年7月より単元株への買増しが可能になりました。買増し分の購入価格は、手続きに必要な書類と買増概算金のみずほ信託銀行または、みずほインベスターズ証券の受付窓口にて到着した日の終値になります。

なお、従来通り単元未満株の買取り(当社に対する売却)も行っています。以上の手続きをご希望の方は、みずほ信託銀行にお問い合わせください。

■お問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

03-5213-5213(代表)

株式のご案内

決 算 日	毎年3月31日	証 券 コ ー ド	8340
定 時 株 主 総 会	毎年6月	公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞 長崎市において発行する長崎新聞
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	毎年3月31日及び中間配当の支払い を行うときは毎年9月30日	名 義 書 換 代 理 人	みずほ信託銀行株式会社
基 準 日	定時株主総会の基準日は毎年3月31 日といたします。その他必要がある ときは、あらかじめ公告して定めます。	同 事 務 取 扱 場 所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
株 式 取 扱 手 数 料	〈株式名義書換〉 無料 〈再発行および不所持株券交付〉 1枚につき210円(税込) 〈単元未満株買取手数料〉 買取代金に対して当社所定の方法 で算出した額	郵 便 物 送 付 先 電 話 お 問 合 せ 先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5213-5213(代表)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 福岡証券取引所	同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

充実した店舗ネットワークをご利用ください

(平成16年10月31日現在)

長崎県：109カ店

店舗外自動サービスコーナー：159カ所

佐世保市

本店営業部
京町支店
南支店
大宮支店
浜田町支店
宮田町支店
大野支店
日野支店
卸本町支店
相浦支店
日宇支店
早岐支店
三川内支店
花高支店
黒髪支店
天神支店
小佐世保支店 ※1
上相浦出張所
佐世保市役所支店
早岐中央支店 ※2

大野中央支店
春日中央出張所
権常寺出張所

長崎市

長崎支店
大波止支店
浜町支店
浦上支店
住吉支店
旭町支店
馬町支店
大浦支店
富士見町支店
本原支店
滑石支店
東長崎支店
西町支店
葉山支店
新大工町支店
新戸町支店
平和町支店

飽の浦出張所
深堀支店
長崎漁港支店
県庁支店
長崎市役所支店
日見支店
チトセビア支店
長崎駅前支店

西彼杵郡

野母支店
時津支店
長与支店
香焼支店
大瀬戸支店
崎戸出張所
大崎支店
大串支店
西彼出張所
西海支店
多良見支店
高島出張所

浜田出張所 ※3

諫早市

諫早支店
諫早駅前支店
西諫早支店
諫早中核団地支店

島原市

島原支店
島原湊支店

南高来郡

深江支店
雲仙支店
吾妻支店
国見支店
西有家支店
口之津支店
千々石支店
南有馬支店
南串山支店
有家支店
布津支店

大村市

大村支店
大村駅前支店
竹松支店
西大村支店

東彼杵郡

彼杵支店
川棚支店
波佐見支店

平戸市

平戸支店

松浦市

御厨支店
松浦支店

北松浦郡

佐々支店
世知原支店
吉井支店
鹿町出張所
江迎支店
田平支店

生月支店
小佐々出張所
小値賀支店
宇久支店
松浦鷹島出張所

五島市

福江支店
奈留支店
三井薬出張所

南松浦郡

有川支店
青方支店
奈良尾支店

壱岐市

壱岐支店 ※4
壱岐中央支店
芦辺出張所

対馬市

対馬支店

福岡県：27カ店

店舗外自動サービスコーナー：9カ所

福岡市近郊

福岡支店
大名支店
西新支店
塩原支店

渡辺通支店
博多支店
別府橋支店
井尻支店
飯倉支店

産大前支店
周船寺支店 ※5
姪浜支店
長住支店 ※6
春日支店

那珂川支店
前原支店
北九州市
八幡支店
小倉支店

北九州支店
徳力支店
戸畑中央支店
八幡中央支店
八幡東支店

その他福岡県内
飯塚支店
久留米支店
八女支店
大牟田支店

佐賀県：7カ店

店舗外自動サービスコーナー：3カ所

熊本県：1カ店

熊本支店

大分県：1カ店

大分中央支店

山口県：2カ店

下関中央支店 | 宇部支店

伊万里支店
嬉野支店
佐賀中央支店
武雄支店

嬉野本通支店 ※7
鹿島支店
唐津支店

大阪府：1カ店

大阪支店

東京都：1カ店

東京支店

海外：1カ所

上海駐在員事務所

振込入金消込サービス管理専用店舗：1カ店

振込専用支店

コンビニATM管理専用店舗：2カ店

ローソンATM支店

コンビニATM統括店

※1 平成16年11月15日(月)に京町支店へ統合
※2 平成16年11月15日(月)に早岐支店へ統合
※3 平成16年11月15日(月)に時津支店へ統合
※4 平成16年12月20日(月)に壱岐中央支店へ統合

※5 平成17年 1月17日(月)に前原支店へ統合
※6 平成16年12月20日(月)に塩原支店へ統合
※7 平成17年 1月17日(月)に嬉野支店へ統合

全国に広がるATMネットワーク

(平成16年10月31日現在)

平成16年10月26日より、イーネットATMサービス・ローソンATMサービスに続いて、アイワイバンク銀行との提携による「アイワイバンクATMサービス」を開始しました。ご旅行やご出張の際には、全国に広がるネットワークをぜひご利用ください。

アイワイバンクATMサービス開始

(平成16年10月26日)



セブン・イレブン佐世保上京町店で行われたオープニングセレモニーの様子

ATM配置マーク

●	イーネットATM
●	ローソンATM
●	アイワイバンクATM
●	親和銀行ATM

福岡	709カ所	● ● ● ●
熊本	135カ所	●
長崎	265カ所	● ● ● ●
佐賀	3カ所	●

広島	443カ所	● ● ● ●
山口	193カ所	● ● ● ●

新潟	327カ所	● ● ●
富山	64カ所	● ● ● ●
石川	45カ所	● ● ● ●
福井	28カ所	● ● ● ●
岐阜	42カ所	●
長野	414カ所	● ● ●
静岡	508カ所	● ● ●
愛知	525カ所	● ● ●

北海道 732カ所

●●●●

青森	149カ所	● ● ● ●
山形	109カ所	●
福島	372カ所	● ● ●

茨城	569カ所	● ● ●
栃木	432カ所	● ● ●
群馬	443カ所	● ● ●
埼玉	1,386カ所	● ● ● ●
千葉	1,379カ所	● ● ● ●
東京	3,553カ所	● ● ● ●
神奈川	1,999カ所	● ● ● ●

三重	107カ所	●
滋賀	151カ所	● ●
京都	262カ所	● ● ● ●
大阪	1,719カ所	● ● ● ●
兵庫	936カ所	● ● ● ●
奈良	94カ所	● ●
和歌山	31カ所	●

沖縄 39カ所

●●

店舗ネットワーク合計

店	舗	数
店	舗	153
店舗外自動サービスコーナー		18,163
イーネットATM		5,157
ローソンATM		3,404
アイワイバンクATM		9,431
親和銀行ATM		171

(単位:カ店、カ所)

また、
お会いしましょう。





九州親和フィナンシャルグループ

Kyushu-Shinwa Financial Group

平成16年12月発行

株式会社九州親和ホールディングス

総合企画グループ

長崎県佐世保市島瀬町10-12 TEL0956-26-4105

<http://www.ksfg.co.jp/>

株式会社親和銀行

総合企画部広報室

長崎県佐世保市島瀬町10-12 TEL0956-24-5111

<http://www.shinwabank.co.jp/>